

日 本 史 A

(解答番号 1 ~ 34)

第1問 次の文章は、「日本の産業革命」というテーマで調査報告を行うことになった二人の高校生の会話である。この文章を読み、下の問い(問1～3)に答えよ。
(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)(配点 8)

紀美子^{きみこ}：日本の産業革命を代表する産業といえば繊維産業があげられるだろうけど、石炭産業も大切だと思わない？

小百合^{さゆり}：近代化の過程では①多くのものを輸入する必要があったから、自給できる天然資源という意味で、石炭は重要だっただろうね。

紀美子：近代的な産業が成長するにつれて、燃料用の石炭は重要性を増しただろうし、石炭産業が近代化を支えたともいえるんじゃないかな。

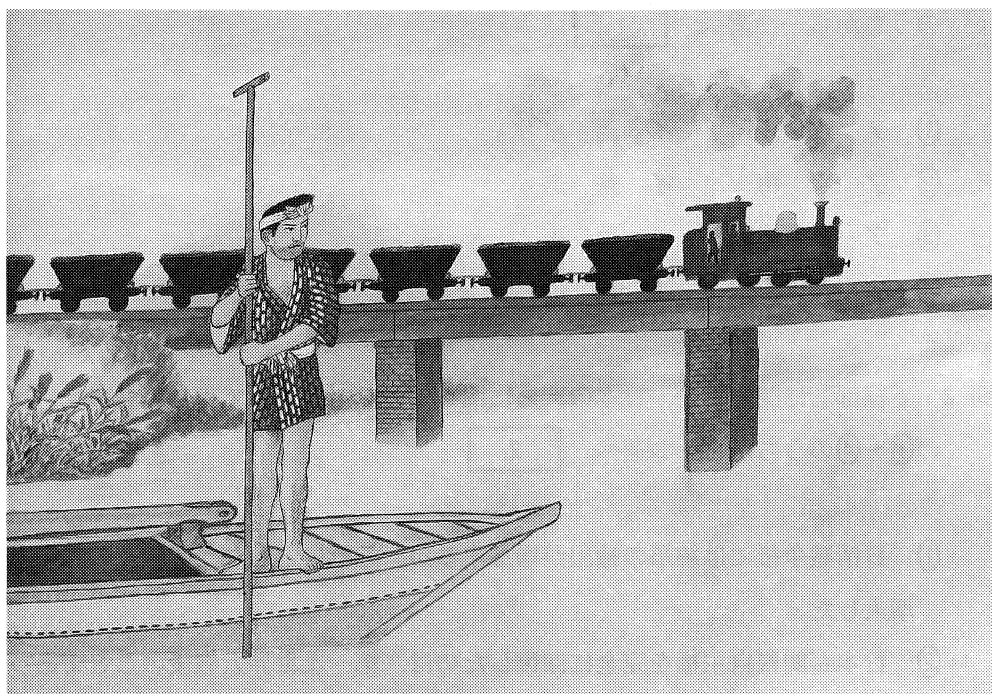
小百合：それは裏を返せば、近代化が石炭産業の発展を促した面もあるということにならない？ たとえば ア を備えた工場が増えることは、石炭の市場が広がることを意味するんだよね。

紀美子：この絵(甲)にも近代化が石炭産業に与えた影響が表れているよ。船頭の漕ぐ舟で集散地まで石炭を運んでいたのが、明治の中頃になると、安定的に大量輸送を行える イ での輸送に替わっていったんだ。船頭さんがうらめしそうな顔をしているように見えるでしょ。

小百合：こちら(乙)は19世紀末の炭鉱で行われていた排水作業の様子だって。深く掘り進むと地下水が湧いてきて、それ以上の採掘ができなくなるから、排水をして採掘量を増やしたんだね。この作業を人力で行っていたなんて、気が遠くなるね。やっぱり機械の発達には石炭産業の発展を後押ししたといえそうな気がする。

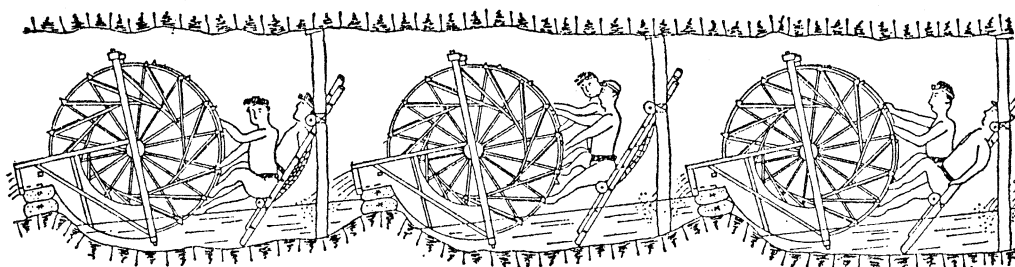
紀美子：新技術を導入することだけが近代化ではないよね。②政治や社会についての人々の考え方も、歴史の流れとともに変化しているかもしれないよ。

甲



(山本作兵衛『筑豊炭坑絵巻 新装改訂版』)

乙



(永原慶二・山口啓二編『講座・日本技術の社会史』第5巻)

日本史 A

問 1 空欄 に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ア 水 車 イ 馬 車
- ② ア 水 車 イ 鉄 道
- ③ ア 蒸気機関 イ 馬 車
- ④ ア 蒸気機関 イ 鉄 道

問 2 下線部③に関連して、日本の貿易に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 日清戦争後には綿糸の輸出が増加するが、それにともなって綿花の輸入も増大した。
- ② 日本が関税自主権を完全に回復したのは、第一次世界大戦後のことであった。
- ③ 世界恐慌のなかで生糸の中国向け輸出が激減し、農村部に大きな打撃を与えた。
- ④ 1 ドル 360 円の単一為替レート設定により、ニクソン＝ショックとよばれる混乱が発生した。

問 3 下線部①に関連して、政治や社会に関して女性たちが考えを述べた次の史料

I～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 3

I 普選案は予定の如く第五十議会を通過した。而してここに国民半数の婦人は廿五歳以下の男子及び「貧困に依り生活のため公私の救助を受け又は扶助を受くる」少数の男子と共に政治圏外に取り残された。

(『婦選』第2号)

II 愈々待ちに待った動員令が決まった。勇躍出発する出征兵士を駅頭にて送る時、新聞、雑誌、ラジオ、其の他で皇軍勇士の奮戦を聞く度、男で有ったならなあと幾度か洩らした事であろう。

(「高橋フサ日記」)

III あゝをとうとよ君を泣く 君死にたまふことなかれ 旅順の城はほろぶとも ほろびずとても何事ぞ

(「君死にたまふことなかれ」)

① I — II — III

② I — III — II

③ II — I — III

④ II — III — I

⑤ III — I — II

⑥ III — II — I

日本史A

第2問 幕末維新期の政治・社会に関する次の文章A・Bを読み、下の問い(問1～6)に答えよ。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)
(配点 18)

A 19世紀後半の東アジアでは、欧米諸国の軍事的介入によって国際情勢が大きく変動し、幕末の日本も大きな影響をこうむった。清が英・仏連合軍に敗北し、天津条約が締結されたとの急報を受けて、江戸に乗りこんだ **ア** と幕府との間で通商条約が調印されたのは、1858(安政5)年のことである。幕府は朝廷にこの② 日米修好通商条約の承認を求めていたが、天皇は条約締結を認めなかった。このように勅許を得ないまま、当時の政局を主導した **イ** は、条約の調印にふみきったのである。

翌1859年から③ 自由貿易が開始されると、全国経済は大きな混乱にいたった。武士のみならず、民衆も幕府政治に対する批判を強めていった。こうした政治批判では、条約は「違勅」だと責めるのが、きわめて有効な主張だった。

問1 空欄 **ア** **イ** に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **4**

- | | | | | | | | | | |
|---|---|------|---|------|---|---|------|---|------|
| ① | ア | ハリス | イ | 井伊直弼 | ② | ア | ハリス | イ | 堀田正睦 |
| ③ | ア | パークス | イ | 井伊直弼 | ④ | ア | パークス | イ | 堀田正睦 |

問 2 下線部③について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 5

- ① 居留地での裁判権を、駐日領事には認めなかった。
- ② 神奈川開港ののち、箱館港が閉鎖されることが決められた。
- ③ 貿易開始にあたっては、関税を日本側が独自に定めた。
- ④ 江戸と大坂を開市とする条項が定められた。

問 3 下線部④に関連して、幕末の貿易に関して述べた次の文 X・Y について、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

6

X イギリスは、条約の締結でアメリカに遅れたが、日本の貿易相手国のうち最大の比重を占めた。

Y 日本と欧米との金銀の交換比率が異なるため、多くの金貨が日本に流入した。

- | | |
|-----------|-----------|
| ① X 正 Y 正 | ② X 正 Y 誤 |
| ③ X 誤 Y 正 | ④ X 誤 Y 誤 |

日本史A

B 次の史料は、駐日フランス公使のロッシュが、1868年4月1日付けで、本国の外務大臣に宛てて発信した報告の一部である。(なお、太陽暦1868年4月1日は、旧暦では慶応4年3月9日にあたる。)

史料

㉔ 日本の皇帝(注1)はまったくの少年であり、年の頃は15、6歳に見えました。その歯は黒く塗られており、眉毛は剃^そられていました。額の中央には、眼のラインにそって、斜めに傾いた人工の眉毛が描かれていました。これは、古代の日本人像を想起させるイメージに応じていました。(中略)

㉕ この政府(注2)は、大君^{たいくん}(注3)に敵対的ないくつかの大名による連合から生まれました。(中略)権力、軍隊、兵器、要塞、軍事施設、そして商業など、一言で申すと実質的な力は大名に属しています。したがって、現在連合を組んでいる諸大名が分裂する日が、突如訪れるかもしれません。すべての大名が支配者になれる訳でも、称号や役職を持てる訳でもないのですから！ 京都の宮廷においても、大名すべてが同じ立場で権勢を振るうことができる訳ではありません。今日、この政局において長たるのは㉔ 薩摩です。(中略)近い将来、大名たちの間で不和が生じる可能性もあります。

(「フランス外務大臣宛の駐日公使ロッシュ報告」『世界史史料』第12巻)

(注1) 日本の皇帝：天皇のこと。ロッシュは1868年3月23日に天皇に謁見した。

(注2) この政府：新政府のこと。

(注3) 大君：将軍(征夷大将軍)のこと。

問 4 下線部㉔の人物に関して述べた次の文 a ～ d について、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。 7

- a この人物は、ロッシュが謁見したとき、西洋人風の化粧をしていた。
- b この人物の誕生日が、祝日と定められた。
- c この人物の先代の天皇は、妹を将軍の夫人とした。
- d この人物の先代の天皇の時代に、一世一元の制が定められた。

- ① a ・ c ② a ・ d ③ b ・ c ④ b ・ d

問 5 下線部㉕に関して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 8

- ① この政府は、戊辰戦争で朝敵とされた旧幕府の領地を没収した。
- ② この政府は、開国和親を外交の方針として示した。
- ③ この政府は、その基本方針に公議世論の尊重を掲げた。
- ④ この政府は、大名の存在を否定することによって成立した。

問 6 下線部㉖に関して述べた次の文 I ～ III について、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 9

- I 薩摩藩は、鹿児島でイギリス海軍と交戦した。
- II 薩摩ほか 2 藩から募った親兵(御親兵)の軍事力を背景として、中央集権化が断行された。
- III 薩摩藩と長州藩が、幕府権力に対抗する軍事同盟を成立させた。

- ① I — II — III ② I — III — II ③ II — I — III
④ II — III — I ⑤ III — I — II ⑥ III — II — I

日本史A

第3問 明治期の立法機関に関する次の文章を読み、下の問い(問1～4)に答えよ。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)(配点 12)

明治初期にはいくつかの立法に関わる機関が設置されたが、その構成員は政府に任命された人々であり、権限も政府の諮問に答える程度の限定されたものでしかなかった。そのような機関の一つに太政官制の下で設けられた **ア** がある。また、1875年には、 **イ** にもとづき元老院が設置された。任命された元老院の議員のなかには、西周のように留学した者もいた。このような留学経験者や来日した外国人のなかには、㉠海外における当時の先進的な知識などを日本に導入した者もいた。

日本における本格的な立法機関は、1890年の帝国議会の開会をもって始まる。帝国議会は衆議院と貴族院の二院からなる。衆議院が国民の選挙を通じて選ばれた議員によって構成されるのに対し、貴族院は、皇族のほか、華族の議員や、国家に功績あるものとして任命される勅選議員、㉡大地主や商工業者などからなる多額納税議員によって構成された。㉢帝国議会では、議員の発言や政府の説明・答弁を記録するために速記術が導入され、議事録が印刷されて公開された。

問1 空欄 **ア** **イ** に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **10**

- ① **ア** 枢密院 **イ** 立志社建白
- ② **ア** 枢密院 **イ** 漸次立憲政体樹立の詔
- ③ **ア** 左 院 **イ** 立志社建白
- ④ **ア** 左 院 **イ** 漸次立憲政体樹立の詔

問 2 下線部②に関して述べた次の文 X・Y と、それに該当する人名 a～d との組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 11

X 政府の顧問として、地方自治制の整備にあたり助言を行った。

Y フランスに留学し、印象派の画法を日本に持ち帰った。

a シュタイン(スタイン)

b モッセ

c 黒田清輝

d 荻原守衛

① X — a Y — c

② X — a Y — d

③ X — b Y — c

④ X — b Y — d

問 3 下線部③に関連して、明治期の経済に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 12

① 三井、三菱などの財閥の出資によって、八幡製鉄所が設立された。

② 1880 年代のデフレーションによって、小作地率は低下した。

③ 地主は、株式・公債などへの投資に消極的になっていった。

④ 官営の工場は、あいついで民間に払い下げられていった。

日本史A

問 4 下線部㉔に関連して、鉄道国有法案の審議に関する次の議事録を読み、下の文X・Yの正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

13

諸君、鉄道国有法案に付きまして聊か提出の理由を陳述いたします。……抑々我国鉄道の現状を見ますれば、官設の外三十有余の私設鉄道が錯綜して居るのでございます。北海道より九州に至る僅々二千哩^{マイル}(注)にも足らぬ主要なる幹線すら尚且つ数箇の管理に分れて居るという有様でございます。……軍事に経済に国家はいかなる不利を被って居りまするか、理の見やすきことと考えます。

(『第二十二回帝国議会貴族院議事速記録』第16号)

(注) 哩：長さの単位。1マイルは約1.6km。

X 鉄道国有法案の提出時、全国の幹線鉄道は単一の鉄道会社が経営していた。

Y 鉄道国有法案は、軍事上、経済上の観点から提出された。

① X 正 Y 正

② X 正 Y 誤

③ X 誤 Y 正

④ X 誤 Y 誤

(下 書 き 用 紙)

日本史 A の試験問題は次に続く。

日本史A

第4問 近代の人口調査に関する次の文章A・Bを読み、下の問い(問1～5)に答えよ。(配点 15)

A 近代国家にとって、人口の正確な把握は重要な政策課題であった。日本では1879年に行われた「甲斐国現在人別調」^{にんべつしらべ}が、その試験的な調査となった。しかし、全国的な調査としての国勢調査の実施には、なかなか至らなかった。

統計学者や帝国議会からの働きかけもあり、1902年に④第1次桂太郎内閣は、国勢調査を実施するための法律を制定した。法律では3年後に、第1回国勢調査実施を予定していたが、アのために実施は無期延期となった。一方で国内各地では、統計講習会や人口調査が行われ、国勢調査を現場で担う人材が、幅広く養成されていったのである。

結局、⑥第1回国勢調査は1920年、法律の制定から20年近く後ようやく実施された。この調査は日本内地のみならず、植民地においても実施する計画であったが、朝鮮では前年のイの影響により実施されなかった。

問1 空欄アイに入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。14

- ① ア 日清戦争 イ 三・一独立運動
- ② ア 日清戦争 イ 甲午農民戦争
- ③ ア 日露戦争 イ 三・一独立運動
- ④ ア 日露戦争 イ 甲午農民戦争

問 2 下線部⑤に関して述べた次の文 X・Y について、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 15

X この内閣が組織されると、「憲政擁護、閥族打破」を訴える運動が起こった。

Y 軍部大臣現役武官制を改正し、退役した大将・中將にまで軍部大臣の任用範囲を拡大した。

① X 正 Y 正

② X 正 Y 誤

③ X 誤 Y 正

④ X 誤 Y 誤

問 3 下線部⑥が実施された当時の内閣について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 16

① 鉄道の拡張などの積極政策や小選挙区制導入により、総選挙で圧勝した。

② ロシア革命への干渉に乗り出し、シベリア出兵を開始した。

③ 貴族院や官僚の勢力を背景にして、超然主義の立場を明らかにした。

④ 海軍高官らの汚職事件への国民の批判が高まり、退陣を余儀なくされた。

日本史 A

B 国勢調査を実施するにあたり、政府は調査の重要性に関する広報活動を行った。1920年の第1回国勢調査を統括した臨時国勢調査局は、調査の内容・趣旨を解説するために、活動写真(映画)「国勢調査」を制作した。これによると、第一次世界大戦後、世界各国はその国勢が急変したため、どの国も「国家百年ノ大計ヲ樹立」するために国勢を調査する必要が生じ、㉔大戦後の日本もこれに遅れを取ってはならないのであるという。そこで、世帯・職業・出生地など8項目について、ありのままを記すよう求めるが、それは決して課税のための調査ではないとも強調している。

調査票は各世帯から調査員が回収し、市町村、道府県を経て臨時国勢調査局で集計された。そして1929年に、第1回国勢調査の㉕調査結果が公表されたのである。

問 4 下線部㉔の政治・社会に関して述べた次の文 a～d について、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。

17

- a ワシントン海軍軍縮条約の調印に反対して、海軍大臣が辞任した。
- b 護憲三派内閣成立後の8年間は、二大政党による政党内閣が続いた。
- c 小作争議が頻発し、全国的な農民組織である日本農民組合が結成された。
- d 労働組合期成会が結成され、鉄工組合などの労働組合が組織された。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

問 5 下線部㊤に関連して、東京市と大阪市の人口に関する次の表について述べた文として正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 18

東京市・大阪市の人口動態

		東京市			大阪市		
		1920 年	1925 年	1930 年	1920 年	1925 年	1930 年
人口総数(千人)		2,173	1,996	2,071	1,253	2,115	2,454
出生地 (%)	自府県	46.49		45.81	44.71		45.58
	他府県	53.02		52.97	54.72		51.00
	植民地	0.22		0.84	0.40		3.16
	その他	0.27		0.38	0.17		0.26
面積(km ²)		81	81	81	58	182	185

(『国勢調査報告』、『東京府統計書』、『大阪市統計書』により作成)

(注) 人口総数と出生地は各年 10 月 1 日現在。面積は各年の年末現在。

(注) 1925 年の出生地別人口は調査されていない。

(注) 大阪市は 1925 年 4 月 1 日に周辺町村との合併を実施している。

- ① 東京市では、1920 年から 1925 年にかけて、第一次世界大戦による動員の影響によって、人口が減少した。
- ② 東京市では、1925 年から 1930 年にかけて、周辺町村との合併にともない、人口が増加した。
- ③ 大阪市では、朝鮮半島で多数の農民が土地を失ったことも影響し、植民地出生者の人口総数に占める割合が増加した。
- ④ 大阪市では、1920 年から 1930 年にかけて、他府県からの流入者の人口総数に占める割合が増加した。

日本史A

第5問 昭和戦前・戦後初期に活躍した作家林芙美子に関する次の文章A～Cを読み、下の問い(問1～8)に答えよ。(配点 23)

A 林芙美子は、1903年に生まれた。幼少期には、行商を営む両親の都合で山口県や九州各地を移動する生活を送った。

1922年、広島県尾道の高等女学校を卒業した芙美子は、東京に向かう。東京では職を転々とし、貧しさと闘いながら、詩や小説を発表した。1926年には①無産婦人文芸協会設立に発起人として名を連ねている。1928年、日々の生活を日記体で表現した自伝的小説「放浪記」の雑誌連載を開始した。その後、単行本化された『放浪記』は、ベストセラーとなり、②芙美子は一躍人気作家となった。

芙美子は、絵も好きで、画家をめざしたこともあった。夫の手塚^{てづか}緑敏^{りょみん}も画家である。③安井曾太郎や梅原龍三郎の絵は展覧会のあるたびに見に行っていた。また、好きな絵を購入したり、自ら絵筆をとったりすることもあった。

問1 下線部②に関連して、大正から昭和初期の社会運動やそれへの対応について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 19

- ① 日本初のメーデーは、集会条例により中止させられた。
- ② 頻発する小作争議を取り締まるため、戒厳令が発せられた。
- ③ 関東大震災の混乱のなかで、無政府主義者の北一輝が憲兵に殺害された。
- ④ 思想取締りのため、特別高等警察(特高)が全国に設置された。

問 2 下線部⑥に関連して、大正から昭和初期の文学や出版について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 20

- ① 中里介山の『大菩薩峠』が大衆的人気を得た。
- ② 小林多喜二は社会主義思想の影響をうけて、『蟹工船』を著した。
- ③ 雑誌『太陽』が創刊され、大衆娯楽誌として人気を博した。
- ④ 文学全集などを1冊1円で売る円本が登場した。

問 3 下線部㉔の人物に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 21

X 「悲母観音」などの優れた日本画を制作した。

Y 美術団体の二科会に参加した。

- | | |
|----------------|----------------|
| ① X 正 Y 正 | ② X 正 Y 誤 |
| ③ X 誤 Y 正 | ④ X 誤 Y 誤 |

日本史 A

B 1933 年、訪ねてきた昔の友人に金を渡したことが、共産党への資金援助と疑われ、芙美子は警察に 9 日間拘留された。その後、㉑ 日中戦争が始まると、新聞社や政府の要請に応じて戦地に赴き、その体験を作品として発表した。また、作品だけでなく、兵隊とともに行動する芙美子自身の姿も、マスメディアで大きく取り上げられた。

アジア太平洋戦争(太平洋戦争)勃発後は、1942 年から翌年にかけて陸軍報道部により南方に派遣され、日本軍の占領地をめぐる帰国した。マニラでは、現地を訪問していた 内閣総理大臣をたたえる詩を作っている。

このように芙美子の旅は、広く㉒ アジア・太平洋の日本軍占領地に及んだ。しかし、戦時下で言論・出版の統制が強化され、代表作である『放浪記』なども発売禁となり、作品の発表数は減っていった。1944 年には、空襲の危険がある東京を離れ、長野県に した。

問 4 空欄 に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- | | | | |
|-----------|-------|-----------|-------|
| ① ア 東条英機 | イ 疎 開 | ② ア 東条英機 | イ 復 員 |
| ③ ア 鈴木貫太郎 | イ 疎 開 | ④ ア 鈴木貫太郎 | イ 復 員 |

問 5 下線部㉑に関連して、日中戦争勃発前後の政治・文学に関して述べた次の文 a～d について、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。

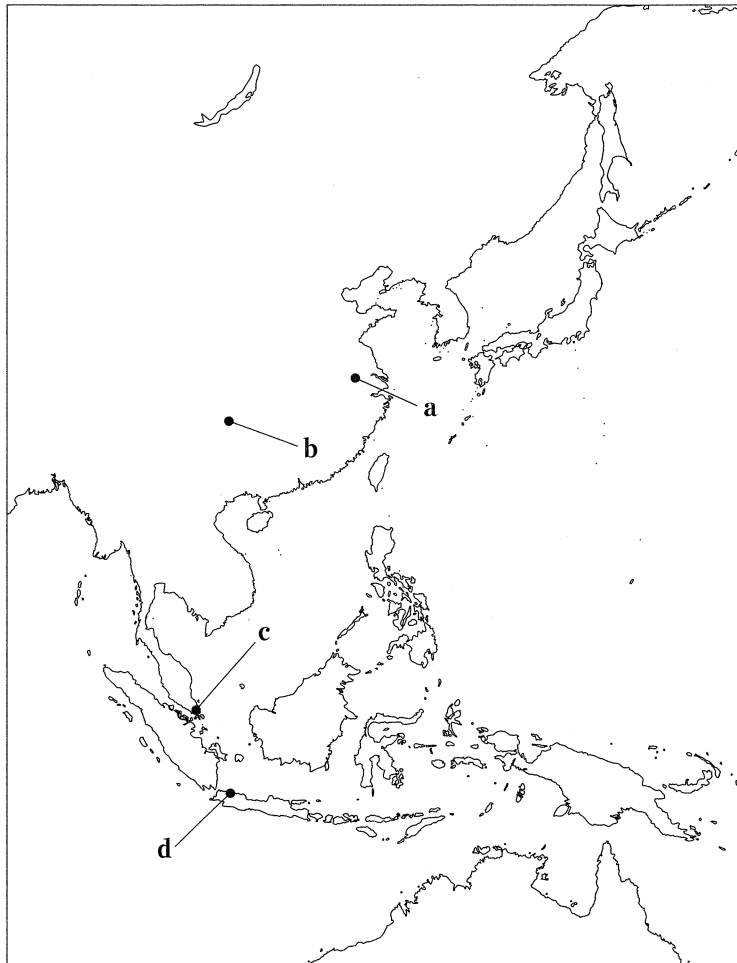
- a 第 1 次近衛文麿内閣は、中国に宣戦布告し、全面戦争への決意を示した。
- b 北京郊外で起こった日中両軍の衝突は、その後上海などへも波及した。
- c 報道への検閲は厳しかったが、小説は検閲の対象外だった。
- d 政府の弾圧により、プロレタリア文学者が転向を迫られた。

- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| ① a・c | ② a・d | ③ b・c | ④ b・d |
|-------|-------|-------|-------|

問 6 下線部㉔に関連して、日本軍が占領した都市について述べた次の文 X・Y と、その都市の所在地を示した下の地図上の位置 a～d との組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 24

X 日中戦争勃発時に中華民国の首都が置かれていた。

Y イギリスの支配する植民地都市であった。



- | | | | |
|---------|-------|---------|-------|
| ① X — a | Y — c | ② X — a | Y — d |
| ③ X — b | Y — c | ④ X — b | Y — d |

日本史A

- C 敗戦後、芙美子は旺盛な執筆を再開し、戦争の犠牲となった人々を主題とする作品を次々と発表した。同時代を舞台とした作品には、新聞やラジオの報道が効果的に取り入れられている。

1946年に雑誌に連載された小説「作家の手帳」では、新聞に掲載された①「裾模様(注1)を着た婦人の代議士」の写真が取り上げられている。芙美子は、敗戦により一般市民は衣食住に苦しんでいるとして、着飾った一部の女性代議士たちに苦言を呈した。そして、戦争により「様々な人間生活の^{しい}弑せられていた(注2)暗黒な時代」を書いてみたいとした。1951年に新聞に連載され、同年6月の芙美子の急死により未完となった小説「めし」では、戦争で消息不明になった者に関する情報を求める②「尋ね人」の放送や、朝鮮特需を論じた新聞記事が登場する。

こうして芙美子は、戦後も庶民の立場から小説を書いた。芙美子の作品は、映画や舞台にもなるほど、長く愛されている。

(注1) 裾模様：裾に模様のある和服。女性が礼装として用いる。

(注2) 弑せられていた：押し殺されていた。

- 問7 下線部①に関連して、戦後初の総選挙に関して述べた次の文a～dについて、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。 25

- a 選挙前に選挙権が、満20歳以上の男女へと拡大された。
- b 日本自由党が第一党となり、石橋湛山内閣が成立した。
- c 戦争中に議員だった者の多くが公職追放となり、立候補できなかった。
- d この選挙後の衆議院と参議院で、日本国憲法案が審議された。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

問 8 下線部㉔に関連して、占領期の社会状況について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

26

- ① 日ソ中立条約にもとづいて、シベリア抑留者の帰国が実現した。
- ② 敗戦による混乱で中国大陆から帰国できず、残留孤児となる人もいた。
- ③ GHQ が発令した国民徴用令にもとづいて、国民が軍需生産に動員された。
- ④ 朝鮮戦争にともなって米軍が大量の物資を供出したため、国民の生活水準が上昇した。

日本史 A

第 6 問 第一次世界大戦期から高度経済成長期にかけての日本の商社に関する次の文章 A～C を読み、下の問い(問 1～8)に答えよ。(配点 24)

A 第一次世界大戦は、日本の商社にとって大きな転機となった。明治以来、圧倒的な地位にあった三井物産を追いかけるように、他の商社の新規参入や事業拡張があいついだのである。なかでも② 大戦景気のなかで大胆な取引を進めた鈴木商店は、1917 年に年商で三井物産を上回るなど急成長を遂げた。

しかし、1920 年に発生した ア を境に日本経済が慢性的な不況局面に入ると、経営破綻や業務縮小に追い込まれる商社があいつぎ、鈴木商店も 1927 年に倒産した。その反面、大戦期の業務拡大に比較的慎重であったとされる三井物産は、さほどの打撃を受けなかった。

③ 1930 年代の世界的な不況下で、三井物産は国内取引の拡大に努めたが、この戦略は地方の中小問屋商人との間に摩擦をとまなうものだった。他方では、体制批判を強める軍部や右翼の間で財閥を糾弾する動きが生まれ、社会的にも財閥に対する反感が強まりつつあった。こうしたなか、1932 年には三井財閥幹部の団琢磨が イ に暗殺される事件も生じた。

問 1 空欄 ア イ に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 27

- | | | | |
|-----|------|---|--------|
| ① ア | 金融恐慌 | イ | 海軍青年将校 |
| ② ア | 金融恐慌 | イ | 血盟団員 |
| ③ ア | 戦後恐慌 | イ | 海軍青年将校 |
| ④ ア | 戦後恐慌 | イ | 血盟団員 |

問 2 下線部㉔に関連して、第一次世界大戦期の日本経済について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 28

- ① アメリカからの生糸輸入が増加した。
- ② 債権国だった日本は、大戦末までに債務国へ転換した。
- ③ 水力発電が盛んになり、猪苗代―東京間で長距離送電が開始された。
- ④ 重化学工業の発展によって、工場では女性労働者が急増した。

問 3 下線部㉕に関連して、1930年代の日本経済に関して述べた次の文 a～d について、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。 29

- a 高橋是清蔵相が金輸出再禁止を断行し、日本は管理通貨制度へ移行した。
- b 国家総動員法により、労働力の軍需動員には議会の承認が必要となった。
- c 農村などの自力更生をはかる農山漁村経済更生運動が進められた。
- d 重要産業統制法が制定され、カルテルの結成が禁止された。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

日本史 A

B アジア太平洋戦争(太平洋戦争)が勃発すると、それまで日本の商社が重要な活動の場としていた欧米諸国との貿易は途絶し、中国・東南アジアとの交易が中心的な業務となった。㉔「大東亜共栄圏」の建設をスローガンに日本軍の占領地域が拡大するなかで、三井物産や三菱商事も、これらの地域に支店や出張所を数多く開設した。

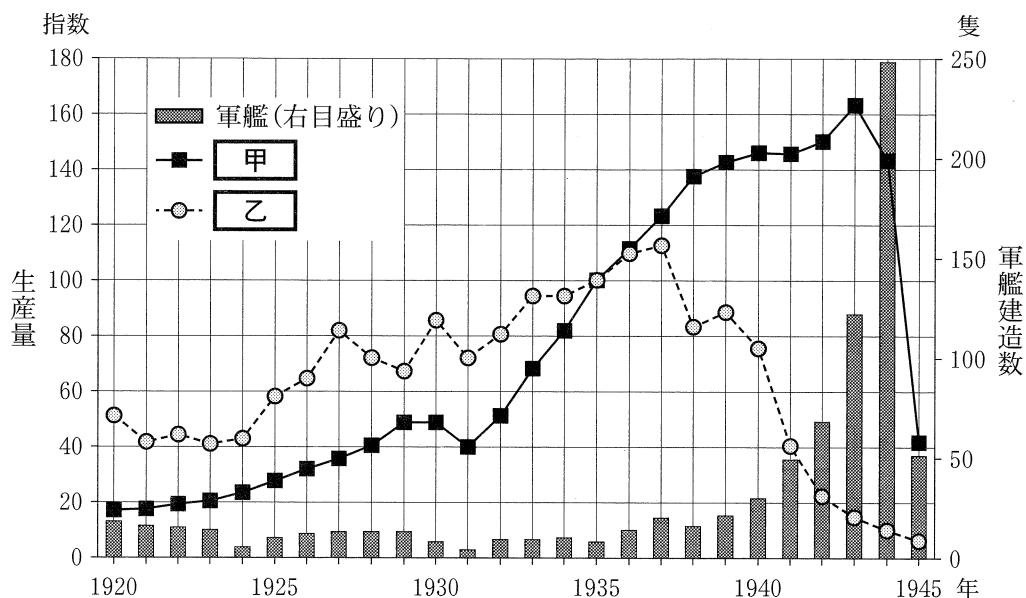
敗戦時までに三井物産の在外拠点は72店に達し、台湾、朝鮮、中国、東南アジアなどには全従業員の43%に当たる1910人が勤務していた。しかし、㉕軍が民間の船舶を徴用したために商船の著しい不足を招いたり、戦況の悪化につれて日本が制海権を失ったりするなど、日本本土とこれら地域との間の輸送は困難になっていった。

問 4 下線部㉔に関連して、日本の植民地・占領地域の状況について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 30

- ① 軍政当局は占領地域の住民に対して、日本語の学習、神社参拝などを強要した。
- ② 朝鮮では、日本式の氏名を名のらせる「創氏改名」が行われた。
- ③ 東南アジアの占領地域では、石油やゴムの徴発が行われた。
- ④ 日本の勢力下にある諸地域の政治指導者たちが京城(現ソウル)に集められ、大東亜会議が開催された。

問 5 下線部④に関連して、戦時期に対照的な動向を示した二つの産業を比較する次のグラフに関して述べた下の文 a ~ d について、正しいものの組合せを、下の①~④のうちから一つ選べ。 31

鉄鋼(粗鋼)・下着類の生産量 (参考：軍艦建造数)



(島野隆夫『商品生産輸出入物量累年統計表』により作成)

(注) 甲・乙の生産量は、それぞれ1935年を100とした指数で示している。

- a 甲は鉄鋼(粗鋼)の生産量、乙は下着類の生産量を示している。
- b 甲は下着類の生産量、乙は鉄鋼(粗鋼)の生産量を示している。
- c 下着類は、日中戦争開始後も、英米との開戦に至るまで増産傾向を維持している。
- d 鉄鋼(粗鋼)は、アジア太平洋戦争(太平洋戦争)中、敗戦の前年まで、昭和恐慌が発生した年の倍以上の生産水準を保った。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

日本史 A

C 敗戦によって日本の商社は在外支店のすべてを失い、引き揚げてきた従業員の生活も困難を極めた。1947年7月、GHQは **ウ** の方針に沿って三井物産と三菱商事に解散指令を発し、前者は200社以上、後者は100社以上に細分化された。二大商社が解散する一方で1947年8月から民間貿易の再開が認められ、丸紅、伊藤忠、住友商事など、関西系総合商社が台頭した。

約7年間に及ぶ占領を経て1952年4月に **エ** が発効した。㉔ 日本の主権が回復されると、企業集団の形成と結びついた再統合への動きが見られ、1954年に三菱商事が、1959年に三井物産がそれぞれ再統合を果たした。

高度経済成長期の総合商社は、㉕ 原料資源の輸入、製造品の輸出などを通じて、日本の産業構造の高度化に大きく貢献した。総合商社のかかわる事業も、インスタント食品、外食産業、宅地開発、レジャー施設などの新分野へ広がり、人々の生活様式の変化を促進していった。

問 6 空欄 **ウ** **エ** に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **32**

- | | |
|-------------|--------------------|
| ① ウ 財閥解体 | エ ポーツマス条約 |
| ② ウ 財閥解体 | エ サンフランシスコ平和(講和)条約 |
| ③ ウ 経済安定九原則 | エ ポーツマス条約 |
| ④ ウ 経済安定九原則 | エ サンフランシスコ平和(講和)条約 |

問 7 下線部㊸に関連して、戦後日本の国際社会への復帰に関して述べた次の文
 I～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥の
 うちから一つ選べ。 33

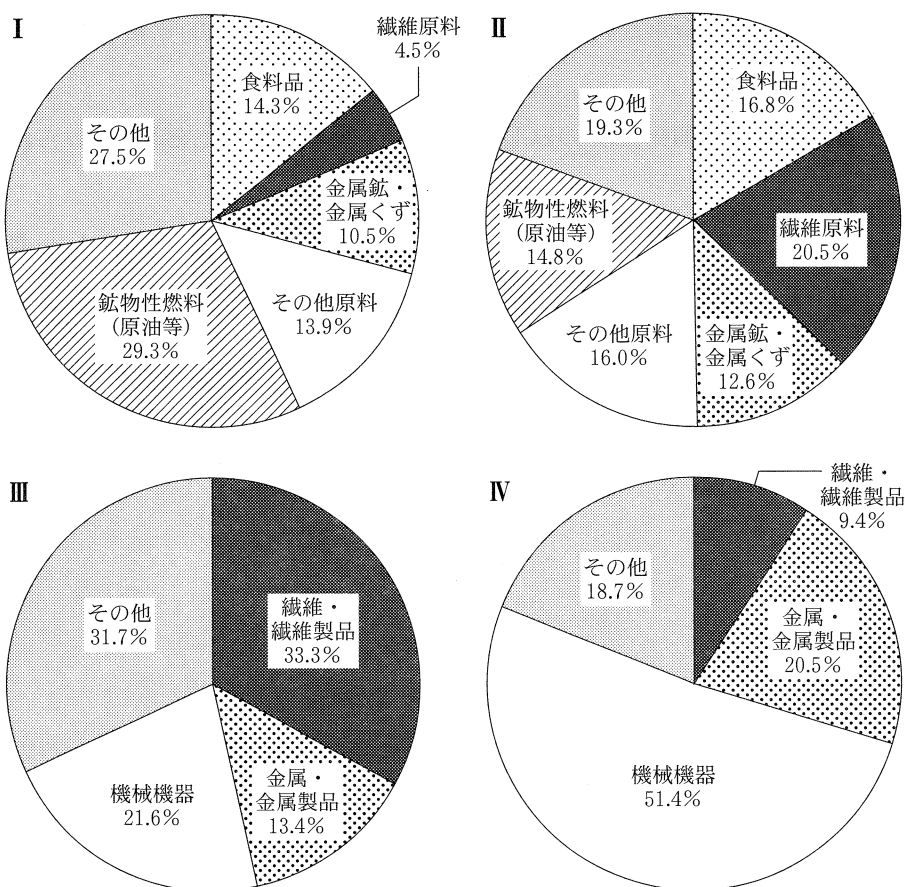
- I 国連の安全保障理事会と総会は、全会一致で日本の国連加盟を承認した。
- II 極東国際軍事裁判(東京裁判)において、指導者層の「平和に対する罪」が問
 われた。
- III 経済協力開発機構(OECD)に加盟し、資本の自由化を義務づけられた。

- | | | |
|----------------|----------------|----------------|
| ① I — II — III | ② I — III — II | ③ II — I — III |
| ④ II — III — I | ⑤ III — I — II | ⑥ III — II — I |

日本史 A

問 8 下線部①に関連して、1950 年代後半と 1970 年代前半の日本における輸出入の構成を示した次のグラフⅠ～Ⅳに関して述べた次ページの文 X・Y について、その正誤の組合せとして正しいものを、次ページの①～④のうちから一つ選べ。

34



(安藤良雄編『近代日本経済史要覧 第2版』により作成)

(注) 数値は 1955～59 年または 1970～74 年の 5 か年平均。

日本史 A

X 輸入の構成を表したグラフはⅠとⅡ，輸出の構成を表したグラフはⅢとⅣである。

Y 1950年代後半の状況を表したグラフはⅡとⅢ，1970年代前半の状況を表したグラフはⅠとⅣである。

① X 正 Y 正

② X 正 Y 誤

③ X 誤 Y 正

④ X 誤 Y 誤